

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 5 部門第 2 区分  
【発行日】平成 17 年 10 月 20 日 (2005.10.20)

【公開番号】特開 2000-2256 (P2000-2256A)  
【公開日】平成 12 年 1 月 7 日 (2000.1.7)  
【出願番号】特願 平 10-168086  
【国際特許分類第 7 版】  
F 1 6 C 35/04  
【F I】  
F 1 6 C 35/04

【手続補正書】  
【提出日】平成 17 年 6 月 15 日 (2005.6.15)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】特許請求の範囲  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

固定軸に対して転がり軸受によって回転可能に支持された円筒状のハウジングの両端部の外径を、中央部の外径よりも大きくしたことを特徴とする転がり軸受装置。

【請求項 2】

前記転がり軸受は、二つの玉軸受からなり、

前記円筒状のハウジングは、前記二つの玉軸受により前記固定軸に回転可能に支持されており、

前記円筒状のハウジングは、前記円筒状のハウジングの外径部にスイングアームを取り付けることができるように構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の転がり軸受装置。

【請求項 3】

前記両端部の外表面と前記中央部の外表面との差  $S$  は、 $3 \sim 50 \mu m$  であり、

前記両端部の軸方向長さ  $L_1$  は、前記円筒状のハウジングの軸方向の全幅  $L$  の  $5 \sim 20\%$  であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の転がり軸受装置。